



しののめYMCAこども園 園だより

2019年度6月号

発行者：こども園園長 堀江和広

聖句 「互いに愛し合いなさい」

わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。

これがわたしの掟である。

6月聖句 「息あるものはこぞって主を賛美せよ。ハレルヤ。」

詩編 150 編 6 節

今年のゴールデンウィークは 10 日間という異例の長い休みでしたので、今年は休み明けの登園の様相が、いつも以上に気になっておりました。

然しながら、想像していた様相ではなく、むしろ、通常の週明けよりも安定した様子で登園する園児の姿を見て、ひと安心いたしました。ゴールデンウィークが終わった今は、年少さんも給食が始まり、お友だちと楽しく給食を食べて過ごしています。

私は毎朝、園庭の門でお迎えをしていますが、登園する園児たちの様子や表情・行動に、変化が出てきたように感じています。それは、今までは片手タッチだけだったのが両手タッチへ。遠慮がちに私の手を握っていた力がギュッと力強くなったり、抱っこして廻っていたのが、手を伸ばしてグルグルと回ったり。園庭の門よりかなり離れた場所から、かけっこのスピードで走ってくるような園児もいます。小さな声が大きな声になったり、うつむいての会話が、私の顔や眼を見て話すようになったり・・・まだまだ変化は沢山あります。

園児たちにとって、こども園は『安心できる居場所』でなくてはなりません。こども園で友だちや先生が、自分を待っていてくれる！楽しく過ごす事ができる！その事を少しずつ実感して『安心できる居場所』としての認識がなされてきたのではないかと思います。

子どもたちはその『安心できる居場所』のなかで、今後ますます他者との交わりを通じて、様々な気づきや学びを繰り返していくと思います。日々成長をしていく園児たちの姿を、これからもしっかりと見守っていきたくて考えています。

6月もどうぞよろしく願い申し上げます。

園長 堀江和広